

ICT 技術を用いた案内解説（試行）について

1. 現状について

項目	主な場所	多言語	写真
案内看板	弘道館公園入口各箇所 N = 5 箇所	日本語	
誘導看板	N = 6 箇所	日本語	
説明看板	N = 17 箇所 (うち弘道館内 7 箇所)	日本語	
注意看板	N = 8 箇所	日本語	
パンフレット		5ヶ国語 英語, 中国（簡体, 繁体）, 韓国語	

2. 外国人観光客の推移

	合計（人）	外国人（人）	備考
平成 26 年度	61,395	461	H26.3 復旧完了
1 月末	39,660	364	
平成 27 年度 1 月末	46,997	610	H27.4 日本遺産

3. 対応

看板等は、必要最低限とするため、ICT技術を用いた案内解説を導入予定

利用者のニーズやアプリの課題などを調査することを目的とし、見学者への案内解説を下記のシステムにより試行的に実施。



試行期間中に、利用者の意見等を踏まえ課題等を抽出し、システムの有効性を整理



本委員会へ報告し、活用面での検討

4. 弘道館の案内・解説システムの試行

実施日 平成28年2月12日(金)から

対象施設 弘道館正庁・至善堂・国老詰所内

提供内容 7箇所の見学スポットで案内解説を日本語と英語で配信

提供方法 水戸市公式のスマートフォン向けアプリ「水戸のこと」を活用

※利用者はアプリをダウンロード

イメージ

